

## プレスリリース

【ジャポニスム 2018 公式企画／映像事業】

**日本映画 100 年の歴史を 119 本の作品でフランスに紹介する一大プロジェクト  
「日本映画の 100 年」いよいよクライマックス！****第 2 部- II 「日本映画再発見 知られざる傑作映画特集」、第 3 部「現代監督特集」開催！  
～超豪華俳優・映画監督など 10 名以上が訪仏予定～**

2019年1月23日(水)～2月25日(月)：第2部- II 「日本映画再発見 知られざる傑作映画特集」(会場：シネマテーク・フランセーズ)

2019年2月6日(水)～3月19日(火)：第3部「現代監督特集」(会場：パリ日本文化会館およびシネマテーク・フランセーズ)



『キツキキと雨』©2011「キツキキと雨」製作委員会



『花筐／HANAGATAMI』©唐津映画製作委員会／PSC 2017

『ユリイカ』© 2001 J-WORKS FILM INITIATIVE  
(電通+IMAGICA+WOWOW+東京アトル)

『三度目の殺人』©2017フジテレビジョン アミューズ キヤガ



『おおかみこどもの雨と雪』©2012「おおかみこどもの雨と雪」製作委員会

2018年7月よりパリを中心にフランスで開催中の日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム 2018：響きあう魂」。

その70を超える公式企画のうち、2018年9月から始まった一大日本映画プロジェクト「日本映画の100年」(主催：国際交流基金、シネマテーク・フランセーズ、国立映画アーカイブ 他)がいよいよクライマックスをむかえます。

本企画を締めくくるのは、第2部- II 「日本映画再発見 知られざる傑作映画特集」と第3部「現代監督特集」です。第2部- II では、フランスではまだ知られていない名監督の作品と、よく知られている監督の知られざる傑作から、日仏両国の専門家が盛んな議論を重ねて選定した32本を上映します。第3部では、2018年に公開された最新作も含め、日本映画界を牽引する巨匠から今をときめく若手監督の作品まで、日本映画の「今」を伝える作品37本を上映します。

また期間中には、上映作品の監督・俳優ら超豪華ゲストを会場にお招きし、パリの映画ファンとの交流トークイベントも行なわれる予定です。『キツキキと雨』の無骨な木こり役から、『三度目の殺人』の不気味な容疑者、さらには『孤狼の血』の過激な違法捜査も辞さない刑事まで、あらゆる人物像を演じ分ける日本屈指の名優役所広司さん、『花筐／HANAGATAMI』で鬼気迫る美しい叔母役を演じ、近年の大林宣彦監督作品のミュージックとも言える常盤貴子さん、『ユリイカ』での圧倒的な演技と存在感で一躍脚光を浴びて以降、女優として着実にキャリアを重ね、『怒り』での壮絶な役作りでも話題となった宮崎あおいさん、フランスでも高い人気を誇り、日本映画シーンを背負って立つ存在の一人である細田守監督、さらには御年80歳にして驚くべきペースで新作を撮り続ける巨匠大林宣彦監督他多数登壇予定です。

企画の詳細や見どころにつきましては、次頁以降をご高覧ください。ぜひ、貴媒体にてお取り上げくださいますよう、お願いいたします。

**報道関係者からのお問い合わせ先：****(独) 国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内****担当：浅野憲央 (070-3190-3708)、川合遼星、松瀬恵子**

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp



■本企画のみどころ

日本でなかなか見られない貴重な傑作を紹介する第2部-II

巨匠から今をときめく若手監督まで、日本映画の「今」を伝える作品 37 本を上映する第3部

ゲストトークには 10 名以上の超豪華ゲストが登場！！

御年 80 歳にしてなお意欲的に新作を作り続ける巨匠、大林宣彦監督の『花筐／HANAGATAMI』（2017）、新進気鋭の映画監督として今フランスでも大注目の濱口竜介監督の『親密さ』（2012）など、今日の日本映画を牽引する監督たちの作品を上映。また、昨年惜しくも他界された樹木希林さんがこよなく愛した映画であり、その名演が光る『モリのいる場所』（沖田修一監督、2018）、瀬々敬久監督が構想から 30 年で完成させた入魂作『菊とギロチン』（2018）、村上春樹の短編小説を映画し注目を浴びた『ハナレイ・ベイ』（松永大司監督、2018）など、「日本映画の 100 年」企画の締めくりにふさわしい、珠玉の最新作が目白押しです。また、上映作品の監督・出演俳優など 10 名を超えるゲストをお招きし、日本でもめったにない規模の豪華な布陣でお送りします。さらには特別ゲストとして、会場の一つであるパリ日本文化会館には、2 月中、『シン・ゴジラ』のシン・ゴジラ像の展示も決定。日本映画の最新作と、豪華俳優・監督たちの夢の競演をどうぞお楽しみください。

■ゲスト情報（五十音順、敬称略）※カッコ内は第2部-II/第3部にて上映予定の出演・監督作品（五十音順）

【俳優】

常盤貴子（『誰かの木琴』『花筐／HANAGATAMI』）

宮崎 あおい（『怒り』『おおかみこどもの雨と雪』（声）『ユリイカ』『わが母の記』）

役所 広司（『キツツキと雨』『孤狼の血』『三度目の殺人』『Shall we ダンス？』『タンポポ』『眠る男』『ユリイカ』『わが母の記』）

【映画監督】

青山 真治（『ユリイカ』）

安藤 桃子（『0.5mm』）

岩井 俊二（『Love Letter』『リップヴァンウィンクルの花嫁』）

大林 宣彦（『HOUSE／ハウス』『花筐／HANAGATAMI』）

沖田 修一（『キツツキと雨』『モリのいる場所』）

阪本 順治（『エルネスト』『団地』）

白石 和彌（『孤狼の血』）

濱口 竜介（『親密さ』）

樋口 真嗣（『シン・ゴジラ』）

細田 守（『おおかみこどもの雨と雪』）

松永 大司（『トイレのピエタ』『ハナレイ・ベイ』）

李 相日（『怒り』『許されざる者』）



『親密さ』©ENBUゼミナール

※都合により登壇する俳優・映画監督が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※各ゲストの登壇スケジュール、イベントの取材に関するお問い合わせについては、

ジャポニスム事務局 映像・文化事業チーム「日本映画の 100 年」担当にお問い合わせください。

Email: [cinema100info@jpf.go.jp](mailto:cinema100info@jpf.go.jp)

報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp

## ■日本映画の100年 第2部-Ⅱ/第3部 開催概要

第2部-Ⅱ/第3部共通

主催：国際交流基金、国立映画アーカイブ、シネマテーク・フランセーズ  
特別協賛：木下グループ、Renault-Nissan-Mitsubishi  
※各入場料他詳しくは各会場の下記公式ウェブサイトをご参照ください。



KINOSHITA GROUP

### 第2部-Ⅱ「日本映画再発見」知られざる傑作映画特集

会期：2019年1月23日（水）～2019年2月25日（月）  
ラウンドテーブルは2月9日（土）『暎の母』上映後～（仏語、登壇者は日本映画専門家の Fabrice Arduini、Mathieu Capel、Jean-François Rauger 他。）  
会場：シネマテーク・フランセーズ（51 Rue de Bercy, 75012 Paris, フランス）

### 第3部「現代監督特集」

会期：2019年2月6日（水）～2019年3月19日（火）  
会場：パリ日本文化会館（101 bis, quai Branly 75740 cedex 15, フランス） および  
シネマテーク・フランセーズ（51 Rue de Bercy, 75012 Paris, フランス）  
※第3部は上映作品によって会場が異なりますのでご注意ください。

## ■上映作品・上映日時 ※各会場の下記ウェブサイトをご覧ください。

- ジャポニスム 2018 公式サイト（上映・登壇スケジュールを順次アップロード予定です。）

<http://qq3q.biz/PudC>

- シネマテーク・フランセーズ（第2部-Ⅱ/第3部会場）

第2部-Ⅱ <http://www.cinematheque.fr/cycle/100-ans-de-cinema-japonais-2eme-partie-493.html>

第3部 <http://www.cinematheque.fr/cycle/100-ans-de-cinema-japonais-3eme-partie-494.html>

- パリ日本文化会館（第3部会場）

[https://www.mcjp.fr/ja/agenda/100-ans-de-cinema-japonais\\_1](https://www.mcjp.fr/ja/agenda/100-ans-de-cinema-japonais_1)

※広報用画像として以下をご使用頂けます。その他の画像についてはお問い合わせください。

『花筐／HANAGATAMI』©唐津映画製作委員会／PSC 2017

『おおかみこどもの雨と雪』©2012「おおかみこどもの雨と雪」製作委員会

『親密さ』©ENBU セミナール

### 「日本映画の100年」とは

「ジャポニスム 2018：響きあう魂」公式企画の一つ。1920年代から2018年まで日本映画の100年の歴史を、日仏の専門家が共同で選んだ119本の映画で辿ります。諸外国の中では比較的日本映画が親しまれているフランスでもまだ知られていない作品や監督にも焦点を当てたラインナップを、3部構成で紹介しします。「日本映画の100年」上映作品一覧は下記ジャポニスム 2018 公式サイトをご覧ください。

公式ウェブサイト内作品一覧ページ：

<https://japonismes.org/wp-content/uploads/2018/12/3a61f01b00788325d686b88f365eb2e5.pdf>

### 「ジャポニスム 2018：響きあう魂」とは

日仏友好160年の本2018年、両国政府間合意に基づき、芸術の都フランス・パリを中心に、大規模な日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム2018：響きあう魂」を開催中。パリ内外の100近くの会場を舞台に、約8か月間に亘り、美術展、舞台公演、映画、その他食や工芸など日本人の日常生活により密着した文化までを含め、さまざまな日本の芸術と文化を、古典から現代まで幅広く紹介しします。会期を通じ、70を超える公式企画を実施。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を前に、日本文化の多様な魅力をパリに、またパリを通して世界に向けて伝えます。

会期：2018年7月～2019年2月 事務局：独立行政法人国際交流基金

公式ウェブサイト：<https://japonismes.org/>



ジャポニスム 2018

## 報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp